

ブラジル金融政策（2023年12月）

4会合連続となる0.5%ポイントの利下げ

2023年12月14日

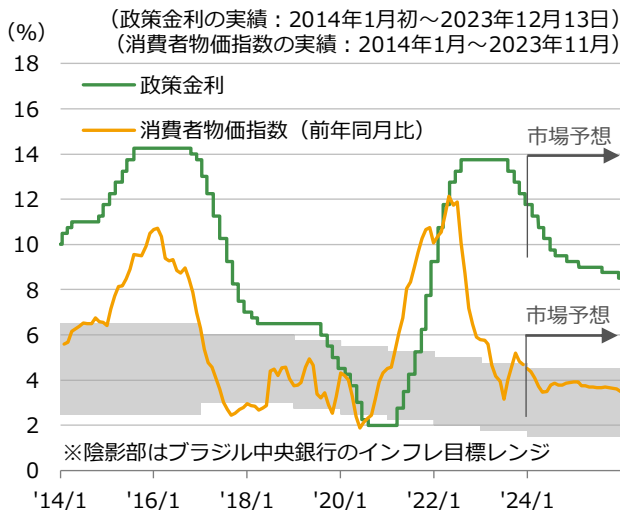
次回以降も0.5%ポイントずつの利下げが基本線

ブラジル中央銀行は12月13日（現地、以下同様）、金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を12.25%から11.75%に引き下げることを決定しました。4会合連続となる0.5%ポイントの利下げです。

インフレ率（消費者物価指数・前年同月比）は、9月に5.2%まで高まっていたましたが、10月は4.8%、11月は4.7%へと低下しました。声明文では、インフレ率は予想通り沈静化に向かっており、基調的なインフレ動向を示す各種指標も目標に近づいたと評価しています。2024年末と2025年末のインフレ率の見通しは、市場予想が3.9%と3.5%、ブラジル中銀の予想が3.5%と3.2%であり、前回会合（11月1日）時点との比較では中銀の2024年末予想が0.1%ポイント下がっただけで、大きな変化はありません。

今後の方針は、前回11月会合と同じく「今後複数の会合（next meetings）における同じ幅の追加利下げを全会一致で予想する」としています。11月会合後にブラジル中銀のネット総裁が「次の2会合は（0.5%ポイントの利下げを実施する）十分な見通しがある」と発言し、来年3月会合以降の利下げ幅は今後の状況次第であることを示唆していました。しかし、今回示された方針により、少なくとも来年3月会合までは0.5%ポイントの利下げを続けることが濃厚になりました。利下げによる景気回復期待や、米国の利下げ前倒し観測など外部環境の好転を背景に、海外からブラジル株式市場への資金流入が活発化しているほか、貿易黒字も高水準を維持しているため、ブラジル・レアルは今後も底堅く推移すると見込まれます。

ブラジルの政策金利とインフレ率

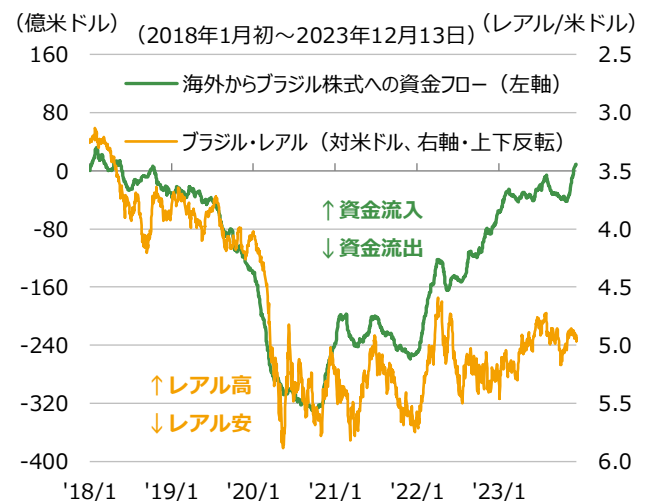


※政策金利の予想は2024年1月会合～2025年12月会合

※消費者物価指数の予想は2023年12月～2025年12月

(出所) ブルームバーグ、ブラジル中央銀行

ブラジル株式市場への資金フローと為替相場



※資金フローは起点からの累積（2023年12月11日まで）

(出所) ブルームバーグより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。